

平成28年度第2回青森県立郷土館協議会について（会議概要）

平成28年度第2回の青森県立郷土館協議会が開催されましたので、その内容をお知らせします。

1 日時

平成29年2月13日（月） 午後1時30分～3時30分

2 場所

青森県立郷土館 小ホール

3 案件

- (1) 平成28年度事業実施状況及び利用状況
- (2) 平成29年度事業実施計画（案）
- (3) 青森県立郷土館の博物館評価
- (4) 平成29年度施設設備改修計画（案）

4 委員からの主な意見

- ホームページ等の多言語表記は、外国の方に来館してもらう上で大きな誘因になるし、来館してそこにパンフレット等に日本語以外の表記があれば、持ち帰って自国で宣伝することも期待できる。郷土館の存在を青森県だけでなく、もっと広く知ってもらう努力をさらに進めてほしい。
- 施設全体の活用について戦略的に考えるべきである。そのためには、マーケティングの発想が有効である。
- 学校教育の立場から博物館利用を考えると、例えば農地改革についての教科書の記述に対して、青森県では実際にはどうだったのかを博物館で調べるといったようなアクティブ・ラーニングに対応できることが求められる。また、それができれば、子どもは長じてリピーターになるのではないか。
- 郷土館にはいい資料がたくさんあり、郷土館は青森県を代表するすばらしい博物館だと思う。その博物館の必要性はますます高まっていく中で、職員にはもっと外へ出て行ってほしいので、それに対応できるように人的構成も考えながら、よりよい郷土館づくりをお願いしたい。
- 郷土館は長く休館するが、休館明けに多くの人に来館してもらうためにも、休館中に館外で資料展示等を実施してはどうか。